

公開型GIS（地理情報システム）導入による市民サービスの向上及び
窓口業務改善に伴う職員の負担軽減（埼玉県三郷市）

取組概要

統合型GIS上にある地図情報の一部を広く一般に公開することで、従来は取得のために来庁が必要だった各種図面をホームページから取得できるようにした。

取組の効果

- ◆窓口への来庁者数や問い合わせ電話回数が減少し、職員の負担が軽減された。
(例: 問い合わせ件数60件/月 → 30件/月)
- ◆休日や夜間に問い合わせがあった場合又は職員が庁舎外にいるときに緊急対応が必要となった場合にも、施設等の状況をスマートフォン等から確認することができるため、迅速な対応が可能となった。

創意・工夫した点

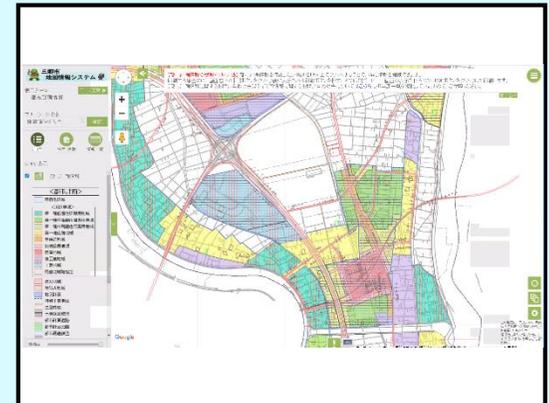
- ◆公開型GISの導入において、積極的な情報公開による市民サービス向上と、窓口業務の改善に伴う職員の負担軽減の両立を図った。
- ◆地図情報の公開型GISへの集積を進めることで、市民が必要な情報へアクセスしやすくなった。

他団体へのアドバイス

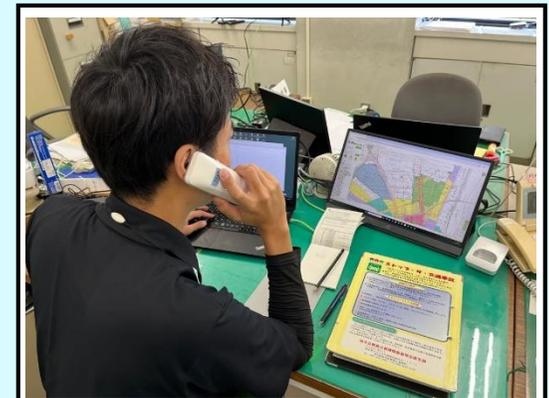
- ◆公開型GISは多くの自治体で導入されており、災害対応にも利用され成果を上げている。窓口業務の効率化が図れるなどDX推進の観点からみても公開型GISは有効であると思われる。

人口 141,867人(R6.5.1現在)

担当 情報政策課



公開型GIS画面



公開型GISを使用し市民対応